

2016-17年度

ガバナー公式訪問

クラブ協議会

とき 平成28年8月31日(水)
ところ ホテルヘリテージ飯能sta.

飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

●飯能RC

小川晃男会長

会員数が減少しているのは当地区だけというお話もございました。例会が充実するように、また、地域社会に貢献して公共イメージを向上させ、増強を図るという事を強調されたように拝聴しました。飯能にとっても全く同感でございます。本日、加藤様の入会で55名となりました。かつては70名を超える事もございました。このまま減っていくとパワーの減少に繋がるという事で増強は喫緊の課題と感じています。増強委員の皆様頑張ってください。私自身も、新会員獲得と退会防止を頭に入れて努力するつもりです。ただ問題は今年1年だけの事ではございません。中・長期的にどうしたらいいのか。ガバナーもおっしゃった通り、クラブ自体が活気に溢れている事と、地域での存在感、認知度が増す事を考えなくてははいけない。では、活気のあるクラブにするにはどうしたらいいのか。まず、クラブ奉仕に積極的に取り組まなくてはならないと思います。魅力ある卓話、親睦のメニュー。担当委員会には知恵を絞って頂きたい。もちろん担当委員会だけにお任せするという事ではいけません。会員お一人お一人が考え、援助して頂きたい。そういう事を通じて楽しくて活気のある例会を目指したい。楽しい例会になれば自然と出席率も向上するだろうと考えております。強制的、強要するような事は考えたくなくて、「出たくなるような例会」を目指し、結果、出席率の向上に繋がる。そういう思いでおります。また、RCを知って頂くため社会奉仕、職業奉仕、青少年奉仕等で協力して地域に密着した活動をお願いしたい。広報委員会にも工夫をお願いしているところです。国際奉仕では2年前、ベトナムの高校にPCを贈るプロジェクトを成功させました。今年度の委員長からも引き続きさらに拡大してやりたいと聞いております。是非成就させて欲しい。そういった事を通じて、クラブ全体の士気が上がり、活性化に繋がるのではないかと考えております。

一番大事なのは、お一人お一人に「ロータリアンである」という自覚をさらに強くもって頂く事。ジャームRI会長のおっしゃる様に、RCの基本はサービス。この命題に向き合ってください。お勉強をして頂きたい。もちろん私自身も勉強して発表させて頂いているわけです。お一人お一人が「ロータリアン」としてより

大きなパワーを持たれる事で「パワーの集合体」とも言える飯能クラブが大きくなる、発展に繋がるのではないかと考えております。結局、「みんな頑張ってください。私一人では何も出来ませんので」という事でございます。

次年度は地区協議会で日高RCがホストクラブ。飯能として全面的にご支援申し上げたい。当クラブからはガバナー補佐が出る事になり、バックアップを最大限にやっていきたい。

もう1つ、我々にとって地区の仕事というのは縁遠い、敷居が高いという感じを常々もっております。これを少し改善してみたいと考え、今まで出ておられた補佐や委員に加え、会長経験者ということではなく、もっと若い方に地区の方に行き、興味のある仕事をやって頂けたらなあと思っております。実はすでに2人の方にお声掛けさせて頂いております。これからの一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

●クラブ奉仕委員会

中里昌平委員長

クラブ奉仕はロータリー活動の原点。クラブにとって最も大事な事は毎週の例会で、楽しく充実したものでなければならぬわけですね。私達のクラブはいろんな意味で優等生ではないかと思っております。出席、プログラム、R情報、親睦の各委員会の協力で例会は成り立っています。「源流の会」田中毅会長の講演「クラブ奉仕の原点を求めて」より：毎週の例会の中で奉仕理念の研鑽をし、事実上の発想の交換を通じて職業奉仕の理念を学び、その結果として自己改善という教育的効果を得る事が出来ます。：私達はこれを「クラブ奉仕」と呼んでいます。米山翁は「ロータリーは人生の道場」とまで言っておられます。小川会長は良く勉強され、毎週、RCに関する情報を提供されている。1年過ぎると会員はかなりのロータリー通になるのではと期待しております。その上、今年度のクラブ奉仕関連の陣容は大変充実しております。楽しい、充実した例会も、出席しなければ何も始まらない。中山委員長はMUを推奨しております。世界中どこでもMU出来る権利があります。2012年、イタリア・プラトーRCでMU、ワインで歓待されました。ホームクラブ欠席の時には得意先に行く時、都内のクラブでMU。都内ではウィークデーなら大抵どこかで例会をやっています。海外展示会の折には単身フランクフルトでMU。予約もなく訪問し、しかも歓待される。これはRC

の特典ではないでしょうか。義務的な事ではなく、他クラブの状況を知ると共に知り合いも増えて参りました。健康にも恵まれ入会以来無欠席を通しております。プログラムは大変です。森委員長は年間予定を立てられました。1年間の卓話を通じて自己研鑽に繋げる事は大変な事です。「充実した例会は卓話から」とも言えると思います。吉田(武)R情報委員長は炉辺会談を通じ新会員にR情報を提供するとはりきっておられます。親睦はロータリーの要。「クラブ」とは同じ目的をもった人の集まりで、奉仕を目的に集まったのがRC。会員間の交流を図るためにロータリーの理念や考え方をさらに深めるのが親睦活動。前島委員長はユニークなスタートを切ったところです。奉仕の理念を遂行するには心一つにしなければならぬ。そのためには親睦が必要になるわけです。関連委員会と綿密な連絡を取りながら、まずは充実した例会を心掛けたいと考えております。

●職業奉仕委員会 新井景三委員長

設立当初は職奉が最重要視されていたわけですが、最近、価値が薄れてきたのかなと思います。極端に言うと職業が無くても入会出来る。「I Serve」か「We Serve」かという議論も、今は「I Serve」的な意味合いが薄れ、皆で奉仕するような流れになりつつある。ガバナーは重点方針の5番目に「職奉の研鑽の機会」を挙げられておられます。それに則って、1989年に採択された「職業宣言」の3つを読ませて頂きます。

- 1) 職業は奉仕の一つの機会なりと心に銘せよ。
- 2) 職業の倫理的規範、国の法律、地域社会の道德規準に対し、名実ともに忠実であれ。
- 3) 職業の品位を保ち、自ら選んだ職業において、最高度の倫理的規準を推進すべく全力を尽くせ。
- 4)~8)が必要な方にはFAX致します。

●社会奉仕委員会 土屋良一委員長

今年度は熊本地震被災者支援について検討、可能な範囲で実施したい。担当卓話11/16(予定)。関連委員会と協力して地域に役立つ事業を行っていききたい。「環境保全」：一人ひとりが身の周りや地球環境で起きている、大気汚染、水質汚染、ゴミ問題等、環境破壊に繋がる諸問題を正しく認識し、緑化、分別、再利用等、保全に努める。1)「はんのう市民環境会議」と連携・協力。2)「ゴミ袋寄贈」。3)「何かひとつできることから始めよう」を心掛ける。

●国際奉仕委員会 藤原秋夫委員長

委員2年、委員長1年、今年2回目、4年経ちます。感じたのは「国際奉仕には時間とお金が掛かる」という事。単年度では決して良い奉仕は出来ません。継続出来るような事業をやっていききたい。セミナーで加藤PGが「私達は国際ロータリアンなのでから国際奉仕を一番に考えてやらなければいけないのではないかと」言われていました。ベトナムにPCを贈る事にしたのは、長く使えるし1台あれば多くの子どもが学べるのではないかとという事です。今年度は2回目として、1回目に行った所の訪問と新しい所の視察をしたい。会員の個人負担と財団の資金も活用して、1台でも多く贈れるよう頑張りたい。地区奉仕委員会の負担金は1人2千円。駿河台大学外国人留学生スピーチコンテス

ト優秀者卓話。国際大会参加も考えています。

●青少年奉仕委員会 市川昭委員長

「新世代」から3、4年前に「青少年奉仕」に名称変更。社会を担う宝「青少年」とどのように関わり、どのようなものを残していけるか、導いていけるのか。方針を大きく2つ定めて実行していきたい。1) RCをより理解してもらうため地域に密着した活動を行う。次週、地元郷土館館長から「これから若い人にどんな飯能を残していきたいのか」というテーマに合致した卓話を頂く。2) 関係諸団体と連携をとりながら、より良い活動をしていきます。

◎前嶋ガバナー講評

会長に出身会社まで調べて頂き恐縮しております。卒業後すぐに就職したのが「三井信託銀行」で、本社は日本橋。お隣の三越はこの前、国の重要指定文化財になりました。入行してすぐ信託の勉強をさせられます。そこで必ず「米山梅吉」の名前が日本の「信託の父」として出て来る。何十年後かにRCに入り、「どこかで聞いた名前だな」と。100年前に東京RCが出来、初代会長が米山氏、福島氏が幹事でした。当時米山氏は三井銀行常務。その後、三井財閥から命じられ「信託」を米国で勉強して来て、日本で最初の会社を創ったわけです。今日改めて、私はRCとは相当縁があるなど感じ入った次第です。

飯能は歴史のあるしっかりしたクラブという感じを受けました。入会式1つを取っても、シャンパンまで出たのはここだけ。加藤さん幸せですね。会長のお話で飯能らしいと思ったのは出席率の向上について。強制ではなく、魅力ある例会であれば向上する。それだけとも言えませんが一番は魅力ある例会、行事だと僕も思っています。それを目指して「全員で考えて頂きたい」と。まさにその通りだと思います。「地区に縁遠いので若い人に」是非そうして下さい。その前に是非飯能からガバナーを出して頂きたい。当地区はノミニもまだ決まっていません。

委員長からMUの話が出ました。MUをもっとやって頂きたい。かつては相当MUをやりました。最近は本当に少なくなっています。一番良いのは他のクラブを知る事です。例えば深谷に行きますと「深谷」「深谷東」「深谷ノース」が同じホテルでやっているのですが、全部部屋が違ふ、運営の仕方も受ける感じも違ふのです。当然、出席率の向上も出来るわけで、是非MUを励行して頂きたい。職業奉仕のカラーはRIでは減って日本が一番残っています。元々の根幹は職奉。武田部門委員長は出前セミナーをやると言っております。社会奉仕については、社会奉仕部門の活動そのものが地域の人に知って頂く最大の活動。是非良い活動をやって頂きたい。国際奉仕では、タブレットが安くて識字率向上にも役立つはずという事でやっているクラブがありました。6/9アトランタ大会参加のツアーは2種を計画。1つが「最速最短」アトランタだけ。『風と共に去りぬ』の舞台やコココーラ本社等の見学で3泊5日。もう1つが「6泊8日」アトランタ～ニューオーリンズ～ダラス。是非参加して頂きたい。(中略) 青少年交換留学生はグループで支えるように変えます。9、10月の会長幹事会で説明致します。